

# 大深度法の問題点について院内集会を開催、外環ネットと共催

## ～2月3日午前11時30分から参議院議員会館

大深度地下を開発する公共土木事業は大深度法を適用して進められます。既に東京外郭環状道路(外環)建設に対し、一昨年12月国交省と東京都から工事実施計画が提出され、縦覧や公聴会を経て、昨年3月、国交省より大深度法の適用による工事実施計画の承認がありました。この事業は、3つの環状線のうち、関越道の大泉JC(練馬区)から、世田谷区の東名インターまでの16キロの高速道路を大深度トンネルで建設するもので、直径16メートルのトンネル2本を通そうというものです。1kmあたりの建設費は東京湾横断道路(アクアライン)に匹敵する1,000億円。16キロの区間に5か所の換気口が掘られます。練馬、三鷹、武蔵野、杉並、世田谷など沿線住民は「外環ネット」を結成し、現在、工事実施計画承認処分の取り消しを求めて千人超の人が異議申し立てを行っています。外環道の次に大深度法が適用されるのはリニア新幹線の首都圏、中京圏におけるリニア新幹線の大深度地下工事です。川崎市民にすれば、工事区間の長さ、立坑建設5か所という点では、リニアは外環ときわめて類似した構造になります。地下水への影響、騒音・振動被害、地価の下落、安全対策の不備など、工事中や供用後の影響も酷似しています。そこで、今回、私たちリニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会として、外環ネットの呼びかけに答え、下記の要領で大深度法の問題点を考える緊急院内集会を開催することにしました。「ジオフロント開発は国土の新たな未来を拓く」という振れ込みで、大深度法は国交省、ゼネコン、建設族国会議員、土木や都市工学研究者が一体となつてつくられたものです。適用例が少なく、それゆえ問題点が認知、指摘されないまま15年近く眠っていた悪法が、外環とリニアに適用されようとしています。ぜひ、多くの人の参加をお願いします。

### 外環道・リニア新幹線緊急院内集会

トンネルと地下水の関係は不安だらけ

2015年2月3日(火) 午前11時半  
参議院議員会館101会議室

講演「大深度地下事業が環境にもたらす影響」  
日本自然保護協会プロジェクトリーダー  
辻村千尋さん

報告 リニア新幹線東京・神奈川連絡会  
外環ネット (辻村千尋さん)

地下水への不安  
地上の建築制限  
地価下落の不安  
地中拡張工事



問合せ 天野 090-3910-8173(リニア連)  
大塚 090-1858-6665(外環ネット)

### リニア新幹線地域説明会日程

是非一度は参加し、住民の声を聴きましょう

12月16日(火)18:00～梶が谷小学校(高津)  
12月23日(火)14:00～野川小学校(宮前)  
1月12日(月)13:30～中原小学校(中原)  
1月17日(土)13:30～新城小学校(中原)  
1月24日(土)14:00～長沢小学校(麻生)  
1月25日(日)13:00～宮崎小学校(宮前)  
1月31日(土)13:00～稗原小学校(宮前)  
2月 7日(土)13:00～橘小学校(高津)  
2月11日(水)13:30～  
南百合ヶ丘小学校(麻生)

ここが問題！リニア新幹線NEWS No. 28  
リニア新幹線を考える東京・神奈川連絡会  
天野捷一(中原・高津)090-3910-8173  
山本太三雄(宮前) 090-8775-1879  
矢沢美也(麻生・多摩)090-6108-6568